

LGBTsと 社会

DVD
全4巻



性の多様性を実践的に学ぶ

6つの物語

LGBTsと 医療

DVD
全2巻



レインボー ストーリーズ

2022年1月
発売予定

バリアフリー字幕版選択可

各巻
約20～25分

価格

各巻49,500円(税抜45,000円)
(学校・ライブラリー共通価格)

※制作中のためタイトルや内容は変更となる場合がございます。

監修：日高庸晴（宝塚大学看護学部教授）

企画・発売 株式会社サン・エデュケーショナル

2015年11月に東京都渋谷区と世田谷区で導入された同性パートナーシップ制度は、全国の自治体に影響を与え、現在では130の自治体(2021年10月現在)で導入されるようになりました。同性パートナーシップ制度はLGBTs施策の象徴的な取り組みになりつつありますが、並行して求められる環境整備として、教育・医療・福祉・地域等での取り組みが不可欠です。LGBTsの人々はどの社会にも地域にも存在していることを前提にして、性的指向や性自認による格差や不平等を是正するような取り組みが社会的に求められるようになっていきます。

ある病院関係者は「LGBTsの患者さんはこれまでに見たことがない」、ある市役所職員は「うちの市にLGBTsの人はいるのでしょうか。これまでにカミングアウトされたこともなければ、相談窓口に何か問い合わせがあったこともありません」と話されたことがあります。カミングアウトされたことがないイコール自分の周囲に存在しない、というのは間違いです。LGBTsの人々に対する差別や誤

解がある社会は、安心してカミングアウトできる状況では決してないこと、「本当の自分」について話すことはとても勇気がいるハードルの高いものであることを十分に知ったうえで、取り組みを進めていく必要があります。

性的指向と性自認の多様性を知ること、その啓発と環境整備を進める一助として、「レインボーストーリーズ」を是非ご活用ください。

日高庸晴(宝塚大学看護学部教授)

宝塚大学看護学部教授、日本思春期学会理事

京都大学大学院医学研究科から博士号授与。カリフォルニア大学サンフランシスコ校医学部エイズ予防研究センター研究員などを経て現職。文部科学省が2016年4月に発表した性的指向と性自認に関する教職員向け資料の作成協力、文部科学省幹部職員研修・法務省の国家公務員人権研修・人事院のハラスメント研修など、国や自治体の人権啓発事業の講師として各地で普及啓発に努めている。専門は健康社会学、社会疫学、社会調査など。



レインボーストーリーズ LGBTsと医療 MEDICAL CARE

人の命をあずかる医療現場においても、LGBTをはじめとする性的マイノリティ(以下LGBTs)の人たちは多くの困難に直面します。性別違和を持つために受診を拒まれてしまうケースや、同性パートナーの面会を認められない、家族として扱われない…など様々な事例が報告されており、時に生命の危機に直結する事例や同性パートナーを分断するような差別的な対応事例も報告されています。平成28年度の医学教育モデル・コア・カリキュラムでは「ジェンダーの形成並びに性的指向及び性自認への配慮方法を説明できる」という項目が加わり、医療従事者がLGBTsについて学ぶ必要性が明示されました。

本シリーズは医療の現場に焦点を当て、LGBTsの人々が直面する様々な課題について取り上げます。そこに関わる医療従事者をはじめとする周囲の人々が何を考え、どう行動するか具体的なケーススタディを通して学ぶことが出来る構成になっています。医療や対人援助の道を志す人たちが、性的指向や性自認といった性の多様性への深い認識や人権感覚を養うことを狙いとしたドラマ教材です。

① 患者とのコミュニケーション

450V010S

医療や看護に携わる専門家にも性の多様性への理解が求められますが、LGBTsのいずれかであると明確にわかったうえでの診療経験はない、という医療従事者も多くおられるでしょう。本来、性的指向や性自認をカミングアウトするかしないかを決めるのはご本人の意思によるものですが、医療現場ではそういったプライベートな情報に接することも少なからずあり、医療従事者ひとりひとりが性の多様性について正しい知識と認識を持った上で、専門職として患者と接することが求められます。

この巻では同性愛者や性別違和を持つ患者とのコミュニケーションにおける注意点をドラマで描きます。先輩看護師とのOJT(On the Job Training)のドラマを通して、無自覚に発せられた言葉が相手を傷つけていないかを考えます。



② 誰もが安心して通える病院づくり

450V011S

誰もが安心して受診出来る医療機関であること、そのための環境づくりが求められますが、LGBTsの人々にとっては、気軽に受診・通院出来ないような様々な障壁が存在します。とりわけ、身体の性と性自認が異なり、性自認に基づいて生活したいと思うトランスジェンダーにとっては、男女の区別が前提になっていることが多い医療機関へ行くことをためらってしまい、容体を悪化させてしまう場合もあります。

この巻では、LGBTs当事者やその家族が通いやすい病院や診療環境づくりをドラマ仕立てでご紹介します。待合室の呼び方から病衣やトイレ問題ははじめ、医療現場で起こりがちな様々な課題を扱い、実践的な取り組みや診療コミュニケーションの在り方に、具体的なヒントを示すとともに、医療従事者が性の多様性を学ぶ必要性を喚起します。



お問い合わせ



株式会社 教 配
URL: <http://www.kyohai.co.jp>

〒190-0012

東京都立川市曙町2-36-2 ファーレ立川センタースクエア
TEL 042-518-9774 (代) FAX 042-518-9785